

2021年6月11日

各位

株式会社 埼玉りそな銀行

「埼玉本社ビル」における再生可能エネルギー由来の電力への切替えについて

りそなグループの埼玉りそな銀行（社長 福岡 聡）は、6月より埼玉本社ビルで使用する電力に、トラッキング付非化石証明書^{※1}が付与された再生可能エネルギーを導入いたしました。

これにより、「埼玉本社ビル」で使用する電力の全量が、実質的に再生可能エネルギー由来のCO₂を排出しない電気^{※2}に切り替わり、年間約1,300トンのCO₂排出量の削減を見込みます。これは杉の木約93,000本が1年間に吸収するCO₂^{※3}に相当します。

りそなグループは、本業を通じ地域経済の活性化に努めるとともに、社会全体の環境負荷低減に積極的に取り組み、多くの皆さまとともに持続的成長と環境・社会課題の解決の両立を推進してまいります。

【対象物件】

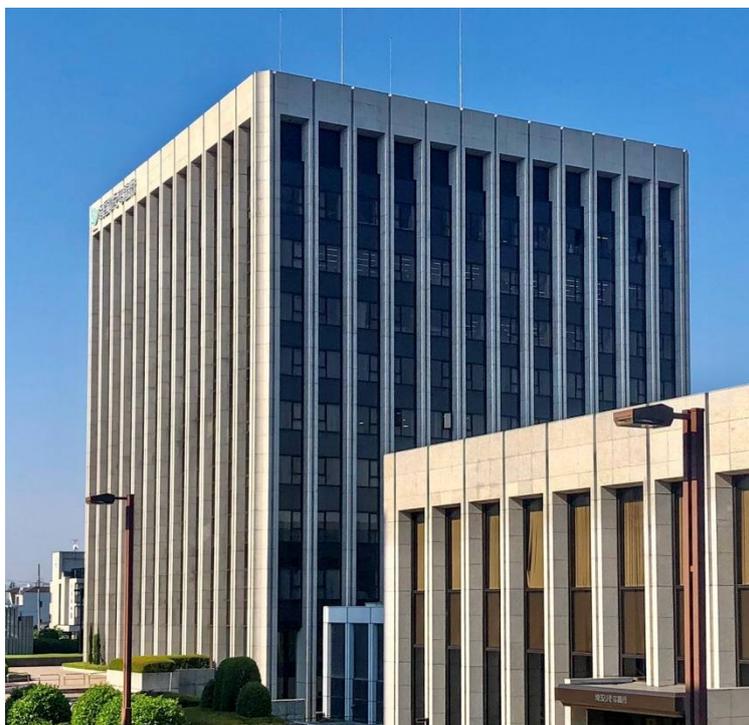
名 称	埼玉りそな銀行 埼玉本社ビル
所 在 地	埼玉県さいたま市浦和区常盤7丁目4番1号
CO ₂ 排出削減量 ^{※4} （見込み）	▲1,300 t-CO ₂ /年

※1 資源エネルギー庁が証明する太陽光、風力、水力などの電源種別や、発電所所在地などの付加情報が付与された非化石証明書

※2 「地球温暖化対策の推進に関する法律」（温対法）の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」において、使用する電気の全部または一部を、CO₂排出計数をゼロとして、CO₂排出量（調整後）を算定することができます。

※3 杉の木は年間約14kg-CO₂/本のCO₂を吸収（出典：環境省/林野庁）

※4 2021年度提出用基礎排出係数により算定



【埼玉りそな銀行 本社ビル】

以上